

2022 年 6 月 8 日

報道関係各位

株式会社 O K B 総研

「O K B 景況指数」 2022 年 6 月期調査報告

O K B グループのシンクタンク（株）O K B 総研（大垣市郭町 2-25 社長 青木 義実）は、3 ヶ月ごとに「O K B 景況指数」を公表しております。このたび、2022 年 6 月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

調査結果要旨

景気の水準	景気の水準は 2 期連続で低下。 まん延防止等重点措置の解除や大型連休により個人消費が大きく持ち直し。 一方、生産活動は原材料価格の高騰や円安、ウクライナ危機、中国のロックダウンなどマイナス要因が重なり減速傾向。
景気の方角	物価上昇による消費マインドの低下や企業収益の悪化が見込まれることから、3 か月後の景気は弱含みの見通し。

O K B 景況指数 とは・・・

O K B 大垣共立銀行の支店長を対象に 3 ヶ月ごとに調査を実施

東海 3 県にある **O K B 大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計

「名古屋」、「西尾張」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景気水準を表す指標**を公表している。

（注）東海 3 県の当該県域全体を対象としていない（O K B 大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象）。

OKB景況指数（2022年6月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長（100支店）
 (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
 (3) 調査方法 2022年5月上旬に調査票を配付し、5月下旬までに回収

調査結果

景気的水準： まん延防止等重点措置の解除や大型連休により個人消費が大きく持ち直し。一方、生産活動は原材料価格の高騰や円安、ウクライナ危機、中国ロックダウンなどの影響で減速傾向。

景気の方 物価上昇による消費マインドの低下や企業収益の悪化が見込まれることから、3ヵ月後の景気は弱含みの見通し。

	景気的水準(2022年6月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	・景気全般は▲30.2（前回比▲2.5）と2期連続で低下。	・▲16.4と「悪化」超
	（支店長コメント） ウクライナ危機に伴う物価高、原材料価格高騰、円安、半導体不足、エネルギー価格高騰などにより中小企業はコスト増を強いられ、総じて景気は停滞気味。新型コロナの影響はいまだ飲食業界を中心にあるものの縮小傾向。GWをきっかけに個人消費は回復しつつある。	
県別	・愛知県▲28.8（前回比▲3.4）、岐阜県▲31.0（前回比▲1.8）と、両県ともに2期連続で低下。	・愛知県は▲15.2と「悪化」超 ・岐阜県は▲18.4と「悪化」超
	（支店長コメント） ・愛知県では、まん延防止等重点措置が解除されて以降、経済活動は回復傾向にある。しかし、主力である自動車産業は中国上海のロックダウンで一部のラインが停止することにより、受注に影響が出ている。 ・岐阜県では、アパレル業はコロナによる販売減、円安進行による仕入コスト増、中国のロックダウンによる仕入遅延など、マイナス要因が重なり非常に厳しい状況。製造業・建設業は、売上は回復基調だが原材料高騰によるコスト増が懸念材料。	
地域別	・飛騨・郡上、名古屋など3地域で前回調査から上昇した一方、西尾張、三河など4地域で低下。前回に続き、全ての地域がマイナス水準となった。	・「良化」超 該当なし ・「悪化」超 名古屋、西尾張、三河、岐阜、西濃、東濃・可茂、飛騨・郡上
	（支店長コメント） 【東尾張地域】 大型連休や行動制限の緩和により、小売、サービス業全般が好調であった。輸入関連は円安や原油高から仕入コストが増大している。自動車関連は中国のロックダウンや半導体不足による完成品出荷の遅れなどの影響あり。 【岐阜地域】 アパレルメーカーは売上がコロナ禍前に比べ5割～6割と引き続き厳しいと聴取。自動車関連製造業は、メーカー側の減産方針により大きな打撃を受けている。建築業においては資材価格の高騰を受け、住宅建設の延期、保留、断念となる顧客も多い。	
項目別	・「全地域」を項目別に見ると、「生産活動」と「企業収益」を除く項目で上昇。特に「個人消費」が▲12.6（前回比+16.0）と大幅に上昇。「生産活動」は▲17.6（前回比▲3.3）と3期連続で低下。	・「増加」超 「生産活動」、「設備投資」、「資金需要」 ・「減少」超 「個人消費」、「企業収益」 ・「不足」超 「雇用」
	（支店長コメント） 「個人消費」： 新型コロナの影響による外出自粛モードが徐々に解消され、飲食店の売上は回復傾向にある。一方、あらゆる物の値上げが消費喚起への足かせとなりつつある。 「生産活動」： 受注は堅調であるが、原材料の入荷遅れや価格高騰の影響により納品までの期間が延びており、生産活動を圧迫。 「設備投資」： 設備更新案件はあるものの、新規ニーズは旺盛とはいえない。補助金への関心は引き続き高く、事業再構築補助金やものづくり補助金、省エネ補助金等の利用を検討する企業は多い。 「企業収益」： 円安・資材価格上昇分の価格転嫁が容易にできる企業は収益増、価格転嫁が困難な企業は収益減という二極化が鮮明。多くの企業で4月までに相応の値上げが行われたが、更なる高騰分の転嫁のタイミングに悩む企業がみられる。 「雇用」： 外国人技能実習生の受入を再開した企業あり。今後、需給改善が予想されるが、人手不足感は根強い。	

*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

①「景気の水準」…調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。

②「景気の方角」…景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウェイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2022年6月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)
名古屋	▲27.5 (+7.5) ↗	▲7.5 (+15.0) ↗	▲25.0 (0.0) ⇐	▲15.0 (▲2.5) ↘	▲30.0 (▲5.0) ↘	▲22.5 (+7.5) ↗	32.5 (0.0) ⇐
東尾張	▲15.9 (+0.8) ↗	15.9 (+38.8) ↗	▲6.8 (+1.5) ↗	▲4.5 (▲12.9) ↘	▲25.0 (0.0) ⇐	▲4.5 (+28.8) ↗	56.8 (+2.7) ↗
西尾張	▲50.0 (▲21.9) ↘	▲17.9 (+13.4) ↗	▲28.6 (▲6.7) ↘	▲14.3 (▲4.9) ↘	▲35.7 (▲7.6) ↘	▲25.0 (▲15.6) ↘	25.0 (0.0) ⇐
三河	▲30.0 (▲6.9) ↘	▲10.0 (+13.1) ↗	▲20.0 (+10.8) ↗	▲30.0 (+12.3) ↗	▲30.0 (▲14.6) ↘	▲10.0 (+36.2) ↗	50.0 (+34.6) ↗
岐阜	▲27.8 (▲6.7) ↘	▲19.4 (+0.3) ↗	▲16.7 (▲16.7) ↘	▲9.7 (▲7.1) ↘	▲22.2 (▲7.7) ↘	▲23.6 (+4.0) ↗	51.4 (+5.3) ↗
西濃	▲29.6 (▲3.7) ↘	▲24.1 (+11.1) ↗	▲9.3 (0.0) ⇐	▲7.4 (+9.3) ↗	▲13.0 (+5.6) ↗	▲33.3 (+9.3) ↗	64.8 (+7.4) ↗
東濃・可茂	▲44.4 (0.0) ⇐	▲22.2 (+16.7) ↗	▲22.2 (▲5.6) ↘	▲22.2 (+11.1) ↗	▲27.8 (+22.2) ↗	▲38.9 (0.0) ⇐	55.6 (0.0) ⇐
飛騨・郡上	▲16.7 (+33.3) ↗	▲33.3 (+33.3) ↗	▲33.3 (0.0) ⇐	▲33.3 (▲16.7) ↘	▲16.7 (+16.7) ↗	▲33.3 (0.0) ⇐	50.0 (0.0) ⇐
桑名・四日市	▲33.3 (0.0) ⇐	16.7 (+50.0) ↗	▲16.7 (+16.7) ↗	0.0 (+33.3) ↗	▲50.0 (0.0) ⇐	0.0 (+33.3) ↗	0.0 (▲33.3) ↘
愛知県(4地域)	▲28.8 (▲3.4) ↘	▲2.3 (+22.4) ↗	▲18.9 (+0.9) ↗	▲13.6 (▲3.4) ↘	▲29.5 (▲5.6) ↘	▲15.2 (+14.3) ↗	41.7 (+6.7) ↗
岐阜県(4地域)	▲31.0 (▲1.8) ↘	▲22.4 (+9.0) ↗	▲16.7 (▲8.2) ↘	▲13.2 (+0.8) ↗	▲20.1 (+4.0) ↗	▲30.5 (+4.4) ↗	56.3 (+4.6) ↗
三重(1地域)	▲33.3 (0.0) ⇐	16.7 (+50.0) ↗	▲16.7 (+16.7) ↗	0.0 (+33.3) ↗	▲50.0 (0.0) ⇐	0.0 (+33.3) ↗	0.0 (▲33.3) ↘
全地域	▲30.2 (▲2.5) ↘	▲12.6 (+16.0) ↗	▲17.6 (▲3.3) ↘	▲12.9 (+0.2) ↗	▲25.2 (▲0.2) ↘	▲23.0 (+9.5) ↗	48.1 (+4.4) ↗

(※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(※2) () 内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(※3) 雇用は「不足ー過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2022年9月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」ー「悪化」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「不足」ー「過剰」
名古屋	▲5.0 ↘	▲5.0 ↘	10.0 ↗	5.0 ↗	5.0 ↗	5.0 ↗	0.0 ⇐
東尾張	0.0 ⇐	22.7 ↗	18.2 ↗	0.0 ⇐	▲31.8 ↘	36.4 ↗	9.1 ↗
西尾張	▲50.0 ↘	▲35.7 ↘	▲28.6 ↘	▲7.1 ↘	▲71.4 ↘	21.4 ↗	0.0 ⇐
三河	▲20.0 ↘	▲20.0 ↘	0.0 ⇐	▲20.0 ↘	▲40.0 ↘	40.0 ↗	0.0 ⇐
岐阜	▲22.2 ↘	▲16.7 ↘	▲5.6 ↘	▲2.8 ↘	▲22.2 ↘	19.4 ↗	8.3 ↗
西濃	▲7.4 ↘	▲11.1 ↘	11.1 ↗	33.3 ↗	▲37.0 ↘	29.6 ↗	7.4 ↗
東濃・可茂	▲22.2 ↘	▲11.1 ↘	0.0 ⇐	▲11.1 ↘	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	0.0 ⇐
飛騨・郡上	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	0.0 ⇐
桑名・四日市	0.0 ⇐	33.3 ↗	33.3 ↗	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐
愛知県(4地域)	▲15.2 ↘	▲4.5 ↘	3.0 ↗	▲3.0 ↘	▲30.3 ↘	24.2 ↗	3.0 ↗
岐阜県(4地域)	▲18.4 ↘	▲12.6 ↘	▲1.1 ↘	6.9 ↗	▲29.9 ↘	17.2 ↗	5.7 ↗
三重(1地域)	0.0 ⇐	33.3 ↗	33.3 ↗	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐
全地域	▲16.4 ↘	▲7.5 ↘	1.9 ↗	2.5 ↗	▲28.9 ↘	19.5 ↗	4.4 ↗

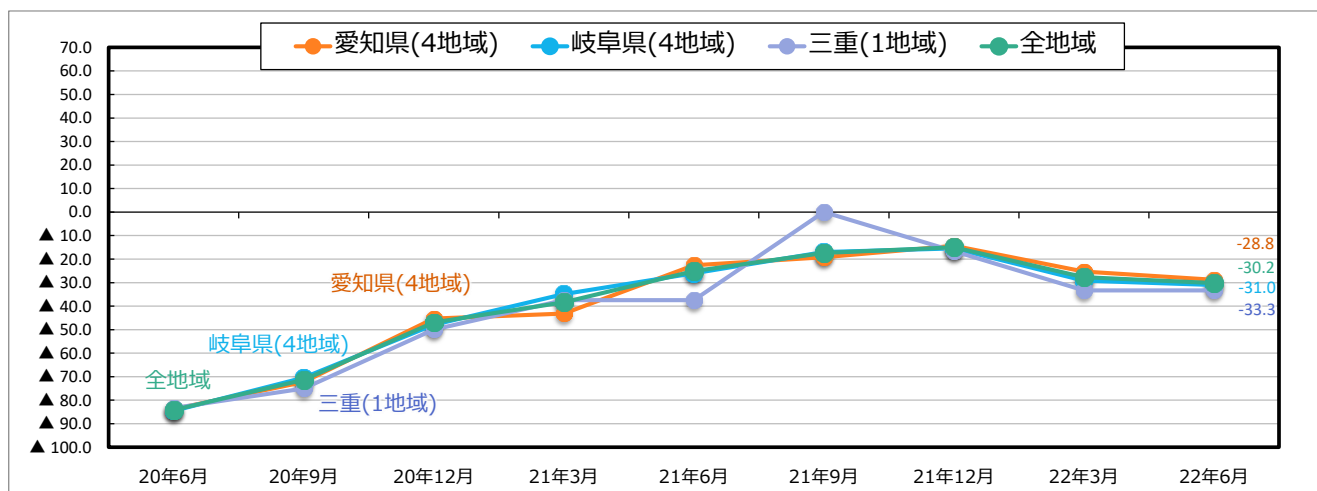
(※) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%)ー「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%)ー「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

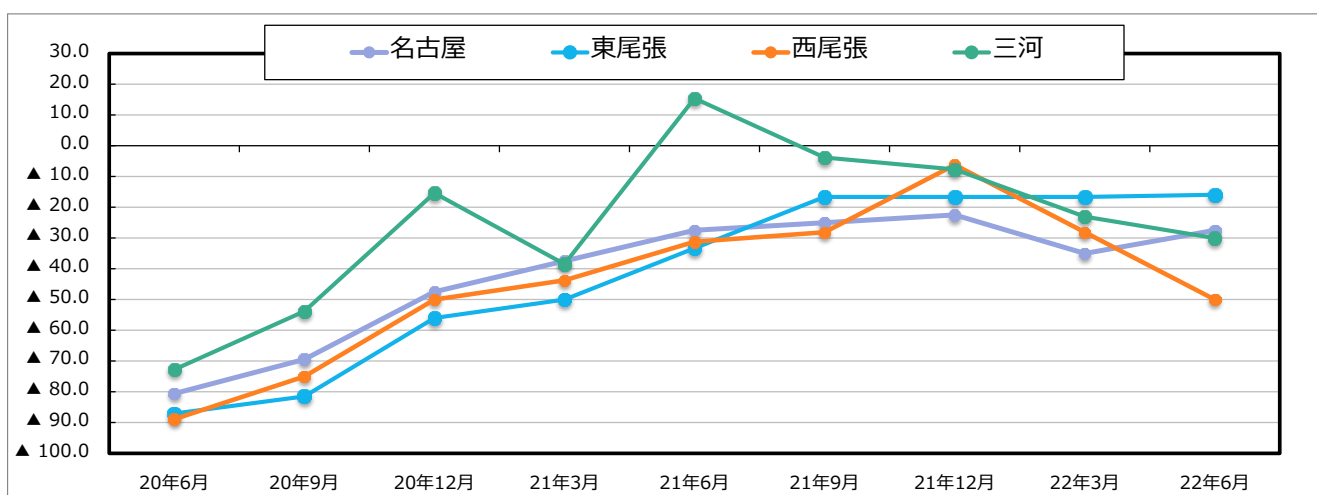
「景気の水準」の推移

■ 県別

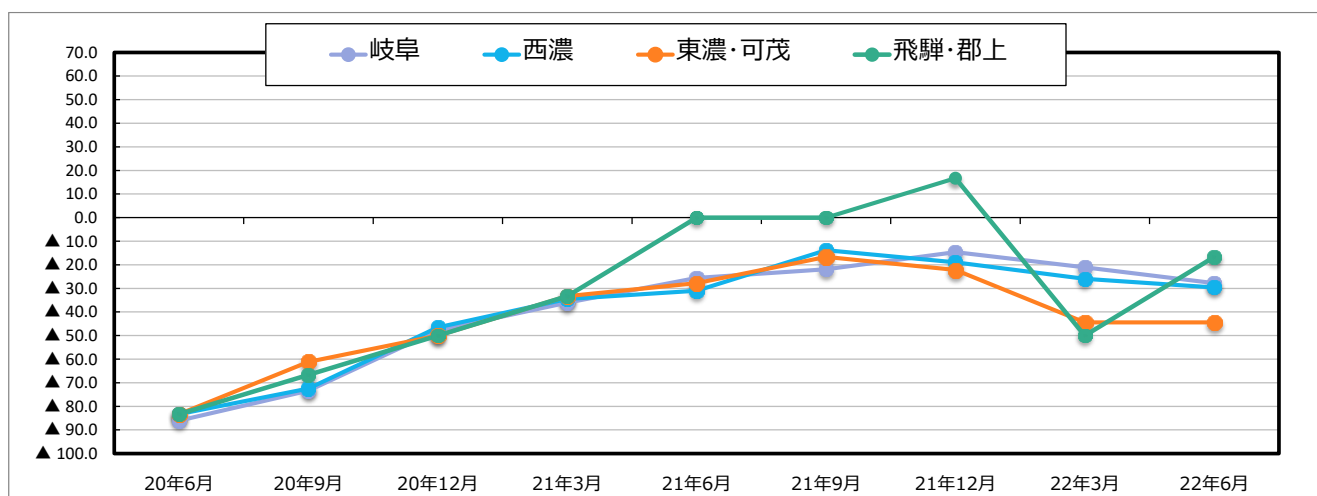


■ 地域別

① 愛知県内



② 岐阜県内



以上